

Panasonic Go

コミュニケーション ガイドライン

Ver 1.1 2025年12月発行

1 本ガイドラインについて

「Panasonic Go」は、パナソニックが培ってきた知見や技術、ハードウェアを最大限に活かしながら、AIを活用したビジネスへの変革を推進するグローバルな企業成長イニシアティブ(先駆的な取り組み)です。本ガイドラインは、「Panasonic Go」に関する発信や、ロゴマークを使用するにあたっての基本ルールをまとめたものです。内容をよく理解した上で、正しく使用してください。

社内問い合わせ先

「Panasonic Go」コミュニケーションガイドライン事務局
panasonicgo_guideline@ml.jp.panasonic.com

本ガイドラインについてご不明な点は、お問い合わせください。

1	本ガイドラインについて	-----	P.2
2	Panasonic Goとは		
	-ロゴマーク&ステートメント	-----	P.4
	-3つの変革の柱	-----	P.5
	-よくある質問	-----	P.6
3	商標関連/発信のルール		
	-商標関連について	-----	P.8
	-発信のルール 概要について	-----	P.9
	-テーマ別の発信ルール	-----	P.10
	-Panasonic Go 表示可能媒体	-----	P.11
	-活用例① 文章表現	-----	P.12
	-活用例② 展示会	-----	P.13
	-活用例③ WEBサイト	-----	P.14
	-活用例④ プレスリリース	-----	P.15
4	ロゴマーク		
	-スタイル/カラー	-----	P.17
	-プロテクトエリアと最小サイズ	-----	P.18
	-禁止事例	-----	P.19
5	社内向け業務ツール		
	-Panasonic Goコンソーシアムロゴ スタイル	-----	P.21
	-Panasonic Goコンソーシアムロゴ カラーバリエーション	-----	P.22
	改訂履歴	-----	P.23

- ✓ Panasonic **Go** とは
 - 商標関連/発信のルール
 - ロゴマーク
 - 社内向け業務ツール

ロゴマーク

Panasonic Go

ステートメント

パナソニックが培ってきた知見や技術、ハードウェアを最大限に活かしながら、AIを活用したビジネスへの変革を推進するグローバルな企業成長イニシアティブ(先駆的な取り組み)です。私たちの事業運営、顧客への価値提供、そして収益創出のあり方を根本から変革し、2035年までに、ソリューション事業を含むハードウェア・ソフトウェア事業において、AIを活用した事業をグループ売上全体の約30%の規模に拡大することを目指します。

上記のロゴマーク及びステートメントは、パナソニックグループのAI倫理原則に抵触するものや、AIを用いないIT技術によるDX推進の取り組み、個別の商品やソリューションのラインナップ名に用いることはできません。

Panasonic Go | 3つの変革の柱

「Panasonic Go」では、AIの活用を前提に、「事業・ビジネスモデル変革」「業務プロセス変革」「企業・組織カルチャー変革」の3つの変革の柱で、グループ全体の新たな成長を加速させていきます。



除外されるもの

- ・パナソニックグループのAI倫理原則に抵触するもの
- ・AIを用いないIT技術によるDX推進の取り組み

事業・ビジネスモデル変革

AIを活用し、より広い・より深い顧客課題解決と顧客体験刷新の加速を図り、高収益事業の拡大を目指します。新規事業の創出に向け、AIを戦略的に活用します。

主な取り組み

- AIをビジネス成長のドライバーと位置付け
- ✓成長事業の創出とビジネスモデルの変革
- ✓継続的に価値提供できるソリューション事業の推進
- ✓ハードウェア・ソフトウェア事業の提供価値向上

業務プロセス変革

意思決定の質とスピードの向上、自社オペレーションの進化と業務効率最大化に向けて、既存プロセスの改善に留まらず、AIを前提とした組織構造、意思決定・業務プロセスに再構築します。同時に、AIとデータを活用したビジネス基盤を整備します。

主な取り組み

- ✓AI前提での、バリューチェーン全体、特にエンジニアリングチェーン、サプライチェーン、顧客対応・管理(CRM)等基幹業務の変革
- ✓機能部門業務(人事・経理・法務等)の変革
- ✓AI/データを活用した事業横断プラットフォームの整備

企業・組織カルチャー変革

社員一人ひとりが成長志向(グロースマインドセット)を持ち、失敗を恐れず、スピード感をもって大胆に挑戦できる組織風土へと転換を目指します。その実現に向けて、全従業員のAIスキルの底上げを図り、イノベーションと協働を重視する企業文化を醸成します。

主な取り組み

- ✓成長・挑戦志向への意識のシフト・組織風土変革
- ✓AI活用およびソフトウェア開発人材の育成とスキルアップ
- ✓AI利用を加速するための各種ガイドラインの整備

よくある質問

PXと「Panasonic Go」の位置づけは？

PX(Panasonic Transformation)はDX(Digital Transformation)を核とするグループ横断の取り組みです。事業戦略の基礎となる事業・プロセス・カルチャーそのものを変革し、パナソニックを再び成長軌道に乗せていくための企業変革プロジェクトです。ITだけに留まらず、「パナソニック全体を変えていく」という意味を含めて、DXと呼ぶだけでなくPXと呼んでいます。このPXの中心的な活動を担うのが「Panasonic Go」であり、PXのビジョンを具現化するための重要な取り組みの一つです。

なぜ今「Panasonic Go」が必要？

AI技術の急速な進化により、くらしやビジネス、社会全体の構造が変わりつつあります。こうした環境変化に対応しながら、創業者の掲げた「物と心が共に豊かな理想の社会」の実現を目指すという250年計画に基づき、AIを活用した価値創出により、共に豊かな社会の実現に貢献することが狙いです。

「Panasonic Go」にはどのようなAIの取り組みが含まれる？

主に大規模言語モデル(LLM)を活用した社内アシスタント「PX-AI」の導入、Blue Yonderを通じた予測AI・生成AIによるサプライチェーン最適化など、多岐にわたるAI技術が活用されます。さらに、Anthropic社との提携により、対話型AI「Claude」も導入予定です。また、2025年に米国でローンチ予定のデジタルファミリーウェルネスサービス「Umi」などがあります。（※2025年7月現在）

投資規模やAI人材育成の具体的な内容は？

北米を中心に、AI関連開発やプラットフォーム構築、人材育成等にすでに多額の投資を行っています。ソフトウェアエンジニアの育成や採用にも注力しています。

2035年までに目指す具体的なビジネス目標は？

これまで培ってきた知見や技術、ハードウェアを最大限に活かしながら、AI活用を広げることで、競争力の高いビジネスモデルへと変革し、さまざまな領域でパナソニックならではのお役立ちを果たすことです。また、AIを活用したソリューション事業を含むハードウェア・ソフトウェア事業を2035年までにグループ全体売上の約30%規模にまで拡大することを目標としています。

「他社との差別化ポイント」はどこ？

パナソニックは、100年以上の事業の知見、毎日10億人以上が製品を利用する接点、そして“人間中心のAI”という明確な倫理観に基づいた開発姿勢を持っています。ハード・ソフト・サービスを一貫して提供できる点が大きな強みです。

「Panasonic Go」のネーミングの背景は？

“Go”は、新たなAIドリブンな未来へ向かう(=Go)意味合いと、250年計画における第5節(2032~2056年)に向かっていることを示すダブルミーニングを持ちます。

Panasonic Goコンソーシアムとは？

Panasonic Goコンソーシアムとは、誰もが最新のAIを簡単に使いこなし、世界最高レベルの業務効率を目指して継続的に改善を図ることを目的とした、有志によるグループ横断の交流・共創の場です。グループ全体の知見を結集し、AIの業務活用を加速させることを目指しています。詳細や最新の活動情報は、社内SharePointサイト[「Panasonic Goコンソーシアム - Home」](#)をご覧ください。

Panasonic **Go** とは

✓ 商標関連/発信のルール

ロゴマーク

社内向け業務ツール

Panasonic Go | 商標関連について

パナソニックとして「Panasonic Go」を安全に使用するために、日本国内および主要国で商標出願をしています。使用の際は、以下をご認識いただいた上でご使用ください。記載の情報は、2025年7月1日時点の内容です。

■商標権の取得状況

- ・現在、「Panasonic Go」は以下の出願国において商標権を出願中です。
- ・商標は商品・サービスを指定して出願するものであり、下記の事業範囲を指定しています。

出願国	日本、米国、中国、欧州連合(EU)、香港、インド、マレーシア、シンガポール、台湾、タイ	
国際分類	9	電子応用機械器具及びその部品、ソフトウェア、電気通信機械器具 他
	42	科学技術に関する調査研究、電子計算機又はソフトウェアの開発 他

欧州連合(EU)・・・アイルランド／イタリア／エストニア／オーストリア／オランダ／キプロス／ギリシャ／クロアチア／スウェーデン／スペイン
スロバキア／スロベニア／チェコ／デンマーク／ドイツ(加盟時西ドイツ)／ハンガリー／フィンランド／フランス／ブルガリア／ベルギー
ポーランド／ポルトガル／マルタ／ラトビア／リトアニア／ルーマニア／ルクセンブルク ※英国は含まれません

■使用に関する注意点

- ・CES2025で使用した右のロゴマークは、商標出願/登録されていないため、社外で使用しないでください。
- ・出願国以外での使用については、事務局にお問い合わせください。



Panasonic Go | 発信のルール 概要について

「Panasonic Go」はAI技術を使った事業や取り組みの発信の際に、企業成長イニシアティブ(先駆的な取り組み)として発信可能です。一方で、「Panasonic Go」は、表現に以下のようなルールがあります。

1

「Panasonic Go」は、企業成長の取り組みを示す名称のため、商標出願/登録に関わらず、商品やソリューション、ソフトウェアの名称と誤認される可能性のある表現は禁止します。

2

「Panasonic Go」は、AI技術に関連する分野(国際分類9、42)で商標出願中ですが、当社の主要商品・サービスに関しては出願していません。そのため、AIに関連する商品やソリューション領域の発信であっても「Panasonic Go」を活用する場合は、企業成長イニシアティブと分かるよう、表現に注意が必要です。



ルール①②のために、商品・サービスとともに使用されることが想定される場合は、商品・サービスと「Panasonic Go」のロゴマークは、必ず表示する場所を分けて表現ください。
具体的な活用例についてはガイドラインP.12~15をご参照ください。

注意事項

「Panasonic Go」の活用は任意です。

AI技術を使った事業や取り組みの発信すべてに対して、「Panasonic Go」の活用が義務付けられているわけではありません。事業や取り組みの発信で、「Panasonic Go」を活用した時に得られるメリットについては、各事業体でご判断ください。

「Panasonic Go」の理念に沿った活動として 部門判断で発信可能なテーマ

AIを搭載した自社製品やAIを活用した取り組みでの使用

- ✓ AI技術の製品実装
- ✓ AI技術を使った開発プロセスの革新
- ✓ AI技術を使った業務プロセスの革新
- ✓ 社外AI技術をカスタマイズし、自社製品へ実装
- ✓ 社外AI技術をカスタマイズせずに、自社製品へ実装

注意事項 下記の条件を満たしていることをご確認ください。

- ・当社のAI倫理原則を満たしていること
- ・社外から見ても、AIを活用した技術、製品、またはソリューションとして、明確に認識される内容であること

お願い

「Panasonic Go」に関する情報を発信する際は、
全社での発信状況を把握するため、事務局までご一報ください。

事務局に事前相談が必要なテーマ

「Panasonic Go」のコンセプトや戦略に関する 新たな発信・情報開示

- ✓ 象徴事業(Umi、Blue Yonder等)の発信
- ✓ 巨大プラットフォーマーとのパートナーシップ
- ✓ AI活用を含む企業戦略の発信 など

注意事項

- ・公表済みの情報については、[CES2025のプレスリリース](#)をご確認ください。
- ・「Panasonic Go」のコンセプトや戦略に関して、
既に公表済みの情報を除き、新たな発信・情報開示を行う際は
必ず事前に、事務局までご相談ください。

■ご連絡先

「Panasonic Go」コミュニケーションガイドライン事務局 panasonicgo_guideline@ml.jp.panasonic.com

Panasonic Go | 表示可能媒体

「Panasonic Go」のロゴマークの使用にあたっては、P.8～10の商標利用に関するルールを確認いただき、商品・サービスの名称と誤認されないよう注意をお願いします。商品・サービスとともに使用する場面については、P.12～15の活用例をご参考ください。特に商品・サービスとともに使用する場面が多いと思われる表示媒体については、事前に事務局にご相談ください。ロゴを誤った方法で使用した場合、他社の権利を侵害したとみなされ、法的措置を受ける場合があります。必ずガイドラインを遵守の上、適切にご使用ください。

表示媒体	使用	備考
カタログ・パンフレット・チラシ	○	発信する内容について、商標にかかわる懸念がある場合は、事前に事務局にご相談ください。
ポスター・看板	○	
映像	○	発信する内容について、商標にかかわる懸念がある場合は、事前に事務局にご相談ください。
新聞・雑誌等	○	
広報リリース	○	
展示会、ショールーム	○	展示方法については、国・地域ごとに判断が異なります。事前に事務局にご相談ください。
イベント、セミナー	○	イベントやセミナー自体の名称に使用したい場合は、事前に事務局にご相談ください。
Webサイト	○	
SNS等	○	
社内イントラネット	○	
製品		
梱包用段ボール	×	明らかに商品名と誤認されるリスクが高いため使用不可
取り扱い説明書		
保証書		
ノベルティ類全般 (景品、ストラップ、クリアファイル、etc.)	×	社内利用のみ使用可能
ステッカー		

■ご連絡先 「Panasonic Go」コミュニケーションガイドライン事務局 panasonicgo_guideline@ml.jp.panasonic.com

活用例① 文章表現

文章表現は、推奨例にならってご検討ください。商品紹介と捉えられる、誤った文章表現例も紹介します。

■推奨例

商品紹介の場合

この製品／ソリューションは、「Panasonic Go」の趣旨に基づき、パナソニックが培ってきた技術と知見に、AIとソフトウェアを融合させて生まれました。

本製品／ソリューションは、AIとソフトウェアを活用した企業成長イニシアティブ「Panasonic Go」から生まれました。ハードとソフトの強みを活かし、お客様の生活やビジネスにより深く寄り添い、新しい価値を提供します。

「Panasonic Go」紹介の場合

「Panasonic Go」は、パナソニックの知見・技術・ハードウェアを最大限に活かし、AIを活用したビジネス変革を推進するグローバル成長イニシアティブです。2035年までにAIを軸とした事業でグループ売上の約30%を目指します。

「Panasonic Go」は、事業モデル・業務プロセス・組織カルチャーの3つの変革を柱にAIとソフトウェアを活用して、パナソニックの新たな成長と価値創出をめざす取り組みです。

AIが、パナソニックの未来をつくる。
私たちの企業成長イニシアティブ「Panasonic Go」が始動。
ものづくりも働き方も、もっと面白く。
#PanasonicGo #AIで変える未来

■誤った例

商品紹介の場合

「Panasonic Goを搭載した」

・この冷蔵庫は、Panasonic Goを搭載した最新モデルです。
※「搭載」という言葉が、技術や機能のように誤認されるためNG。

「Panasonic Goデバイス」

・この製品は、次世代のPanasonic Goデバイスとして設計されました。
※「Panasonic Go」が製品カテゴリやデバイス名のように誤認されるためNG。

「Panasonic Goを活用した」

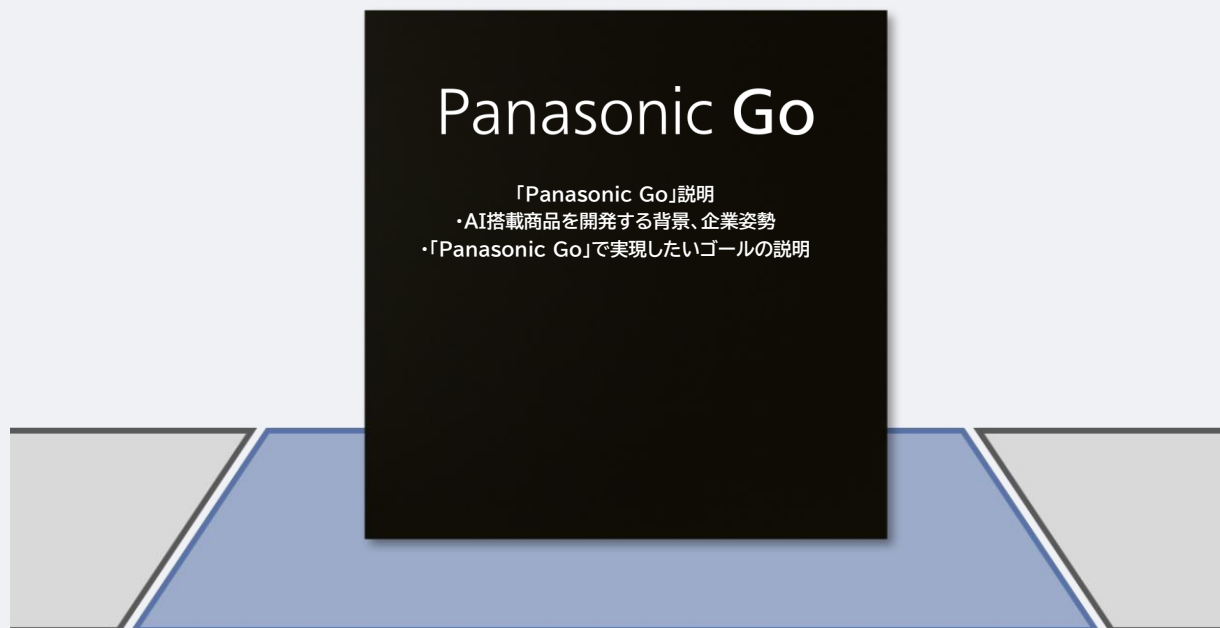
・当社ではPanasonic Goを活用してAI搭載製品の開発を加速させています。
※「Panasonic Go」が機能やツールであるかのように誤認されるためNG。

活用例② 展示会

展示会で「Panasonic Go」のロゴマークを使用する際は、商品展示ブースと企業紹介ブースを完全に切り離れた上で、企業紹介ブースの方で、「Panasonic Go」が企業イニシアティブと明確に分かるよう表記してください。

国・地域により判断が異なりますので、展示方法詳細については、必ず事前に事務局(panasonicgo_guideline@ml.jp.panasonic.com)へご相談ください。

■推奨例(企業紹介ブースでの活用)



「Panasonic Go」の説明をパネルに記載し、商品展示ブースとは明確に区画を分けてください。

■誤った例(商品展示ブースでの活用)



商品展示と同じブースに「Panasonic Go」のロゴマークを表記すると商品名と誤認される可能性があるため、お控えください。

活用例③ WEBサイト

WEBサイトで「Panasonic Go」のロゴマークを使用する際は、企業情報サイトに記載してください。

商品サイトで「Panasonic Go」のロゴマークを表記するのは、商品名と誤認される可能性があるため、お控えください。

■推奨例(企業情報サイトでの使用)



← 商品やソリューションの情報とは分けて記載。

■誤った例(商品サイトでの使用)



活用例④ プレスリリース

プレスリリースで「Panasonic Go」のロゴマークを使用する際は、リリースで訴求したい商品・サービスの紹介と、「Panasonic Go」のロゴマークは分けて表記をお願いします。

■推奨例

パナソニックホールディングス株式会社

個人向け商品 法人向けソリューション

Panasonic Group


パナソニックグループについて ニュース 投資家情報 サステナビリティ 企業情報 採用情報

Newsroom Japan すべて 企業・経営 技術・研究開発 製品・サービス サステナビリティ イベント・スポンサー活動 | Stories ニュース検索

Newsroom TOP > パナソニック株式会社が最新のAI冷蔵庫を発表

パナソニック株式会社が最新のAI冷蔵庫を発表

リリース本文:
商品紹介、機能性訴求、価格、発売日など



Panasonic Go

「Panasonic Go」説明:
・AI搭載商品を開発する背景、企業姿勢
・「Panasonic Go」で実現したいゴールの説明

商品紹介と分けて記載

■誤った例 「Panasonic Go」のロゴマークと、商品紹介の連続表記で商品と誤認される書き方はお控えください。

パナソニックホールディングス株式会社

個人向け商品 法人向けソリューション

Panasonic Group

パナソニックグループについて ニュース 投資家情報 サステナビリティ 企業情報 採用情報


Newsroom Japan すべて 企業・経営 技術・研究開発 製品・サービス サステナビリティ イベント・スポンサー活動 | Stories ニュース検索

Newsroom TOP > パナソニック株式会社が最新のAI冷蔵庫を発表

パナソニック株式会社が最新のAI冷蔵庫を発表

Panasonic Go

「Panasonic Go」説明:
・AI搭載商品を開発する背景、企業姿勢
・「Panasonic Go」で実現したいゴールの説明



リリース本文:
商品紹介、機能性訴求、価格、発売日など

商品リリースと一体化はNG

Panasonic Go とは

商標関連/発信のルール

✓ ロゴマーク

社内向け業務ツール

ロゴマークのスタイルは1種類です。メディアや特性に応じて背景色は自由ですが、コントラストに留意し、視認性を高めてください。
ラインロゴマークを使用する際は、正規のデータをダウンロードの上、正しく使用してください。

■スタイル



■カラーバリエーション

黒単色

ポジティブ



ネガティブ



カラー

ポジティブ



ネガティブ



注意事項

- ・ PUDフォントを活用したロゴのルールについては [ブランド表示ガイドライン](#)をご参照ください。
- ・ CES2025で使用した右記のロゴは、社外向けの使用はできません。社内利用についてはP.21～22をご参照ください。



ロゴ規定 | プロテクトエリアと最小サイズ

ロゴマークを表示する際には、常にロゴマークが単体として象徴的に見えるよう、プロテクトエリア(ロゴマークの周囲に十分な余白)を確保して、視認性、独立性を高めてください。他の名称、記号、図形、文章などと接近して表示することはできません。また、最小使用サイズを守って使用してください。

■プロテクトエリア



■最小サイズ



禁止事例

本ロゴマークの変形や加工は禁止です。本ロゴマークを表示する際の誤った使用例を以下に示します。
また、Panasonicロゴを使用する際は、ブランド表示ガイドラインに従ってください。

× 長体・平体に変形しない。

Panasonic Go Panasonic Go

× 円弧に変形しない。

Panasonic Go

× 斜体に変形しない。

Panasonic Go

× 斜めに配置しない。

Panasonic Go

× アウトラインに加工しない。

Panasonic Go

× 規定された色以外を使わない。

Panasonic Go

× Panasonicロゴと組み合わせない。

Panasonic Go

× Panasonicロゴや事業会社ブランドロゴと組み合わせない。

Panasonic
Panasonic Go

Panasonic **Go** とは
商標関連/発信のルール
ロゴマーク

✓ 社内向け業務ツール

本ロゴマークのスタイルは、基本タイプと横長タイプの2種類です。
ロゴマークを使用する際は、正規のデータをダウンロードの上、使用してください。

■スタイル

基本タイプ



横長タイプ



■使用に関する注意点

- ・コンソーシアムロゴは、社内利用でのみご活用ください。
- ・本ロゴマークの変形や加工は禁止です。
- ・コンソーシアムロゴと「Panasonic Go」のロゴマークを組み合わせて表示することは禁止です。



Panasonic Go コンソーシアムロゴ | カラーバリエーション

24色から好きなロゴカラーを選ぶことができます。

私たちそれぞれが、AIの活用方法を見つけて「Panasonic Go」を促進できるようにという想いを込めています。

■カラーバリエーション



改訂履歴

改定日及び版数	改訂箇所	内容
2025年12月1日 Ver 1.0	4. ロゴマーク	「Panasonic Go」ロゴのカラーバリエーションを変更
2025年12月26日 Ver 1.1	3. Panasonic Go 表示可能媒体	備考欄に補足を追加
	3. 活用例② 展示会	推奨例を改訂、シンプル化